

坂東 眞理子（昭和女子大学 総長）

立山町に生まれ、五百石小学校（現 立山中央小学校）、雄山中学校、富山中部高校から東京大学へ進学。東京大学を卒業後、総理府に入府。内閣総理大臣官房参事官、埼玉県副知事、ブリスベン総領事、初代内閣府男女共同参画局長などの要職を歴任、退官後は昭和女子大学で学長、理事長、現在は昭和女子大学総長。また、ベストセラーとなった「女性の品格」をはじめ、これまで数々の著書を発表。さらに、テレビ出演や執筆活動の際には、立山町出身ということで、町の知名度向上にも貢献され、ふるさと立山町における功績は誠に顕著であることから、令和6年12月18日に名誉町民として議決されました。

Profile

立山町出身

昭和44年に東京大学卒業後、総理府入省、青少年対策本部、婦人問題担当室、老人対策室、内閣総理大臣官房参事官、統計局消費統計課長などを経て男女共同参画室長

平成7年 埼玉県副知事

平成10年 在オーストラリア連邦
ブリスベン日本国総領事

平成13年

内閣府男女共同参画局長

平成15年

学校法人昭和女子大学理事

平成26年

学校法人昭和女子大学理事長

平成28年～現在

学校法人昭和女子大学総長

令和元年

公益財団法人東京都教育支援機構理事長

